



特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
会報

第13号 2015.3.31

「環境教育ボランティア講座」事業を実施しました！

平成26年度ふくおか地域貢献活動サポート事業報告
(事業名:宇美町の宝(巨樹・樹洞)の保全と環境教育活動事業)

ふくおか環境カウンセラー協会 理事 三苦 達久

【はじめに】

福岡県の助成事業、平成26年度ふくおか地域貢献活動サポート事業により、実施した「宇美町の宝（巨樹・樹洞）の保全と環境教育活動事業」その活動概略を報告する。

【実施主体】

巨樹・樹洞保全協議会(会長 依田浩敏)

- 一般社団法人 福岡県樹木医会
- 特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会
- 宇美町役場共働のまちづくり課

【事業目的】

日本一ともいわれる宇美八幡宮の巨大なクスノキの森は宇美町の宝である。町の宝である巨樹の保全のためには、周辺環境の整備が必要であり、環境の事を、もっと理解してもらわなければならない。

町民が主体となり、これからの巨樹の保全と町の環境を考えていかねばならない。そのための町民の意識向上と連携を目的とする。

宇美町の宝物・宇美八幡宮の巨樹の保全・周辺環境の保全



【事業内容】

- 環境体験イベント

第1回 時期：平成26年8月22日(金)場所：宇美八幡宮境内

参加対象者・人数：町民、144人（関係者を含む）

内容：巨樹と樹洞の価値を知ってもらうためのイベント

第2回 時期：平成26年12月6日（土）場所：宇美八幡宮境内

参加対象者・人数：町民、65人（関係者を含む）

内容：ボランティア講座の成果を発表するイベント

● 環境ボランティア講座（全5回・隔週木曜日）

時期：平成26年9月11・25日、10月9・23日、11月6日

場所：町民活動支援センターふみらぼ、宇美八幡宮

参加対象者・人数：シルバー世代を中心とした町民、17名

内容：巨樹と環境の保全活動が実施できる様に、樹木や環境を学習する講座

● 環境学習会

時期：平成27年1月17日（土）

場所：宇美小学校

参加対象者・人数：小学校児童を中心とした町民、43名

内容：ビオトープ活動が盛んな小学校において、一本の木からでも立派なビオトープになる事を認識してもらい、学校ビオトープで学んだことを巨樹と環境保全に役立ててもらおう学習会

【事業実施体制】

- 事業計画とイベント運営・環境ボランティア講座・環境学習会については、特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会が実施した。
- 事業計画とイベント運営・巨樹・樹洞の保全・環境教育などに関連する分野は、一般社団法人福岡県樹木医会が実施した。
- 町民との連携（イベント運営・ボランティア講座等）については、宇美町・共働のまちづくり課が行った。
- ご神木の環境体験イベントへの利用・会場の提供など、子供を守る神様である宇美八幡宮の全面的な協力があった。

【事業成果・感想】

事業の目的は、町の宝である巨樹の保全の為に、周辺環境の保全が必要であり、町の環境に対する町民の意識向上と連携を目的としたものである。これについて、どの様な成果があったか考えてみる。

二つの環境体験イベントや全5回の環境ボランティア講座、小学校での環境学習会には、人口38,000人の宇美町としては、多くの参加者があった。

また、アンケートの結果を見ても、環境に対する意識の向上が感じられる。いくつかを原文のまま抜粋すると「「自然との共生」意識して生活していくことの大切さ！子どもへの伝え方（生かされている事）の工夫、アイデアにつながりました。ありがとうございました。発見がたくさんでした。」「まわりの自然環境を見る目が変わってきたように思う。」「自然と共生する社会が大切なことがよくわかりました。」。また、連携に関しても「町の宝を知り、守り、次世代に繋げていきたい。第一歩。」などの回答があり、当初の目的は達成されたように考えられる。

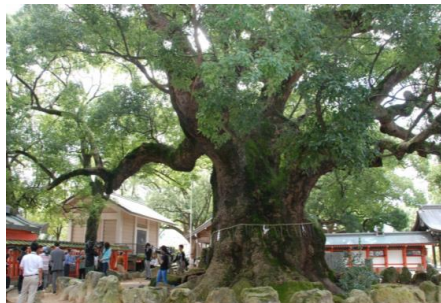
事業としては、十分な成果があったと考えるが、一過性に終わらせず、継続し定着させていかねばならない。

さらには、日本一ともいわれる宇美八幡宮の巨大なクスノキの森を「町の宝」として、町の活性と発展に寄与する方法も考えていかねばならない。このクスノキの森が、人々の役に立ち、大事にされることが、クスノキの森保全の最善の方法と考える。

そのためには、人気の宇美八幡宮での体験イベントを、町民ばかりでなく、枠を広げて広く募集することも必要であろう。

また、次世代を担う小学校との協力体制を築き、環境学習会や学校ビオトープの活動協力を通して、樹木と環境について学習してもらい、総合学習活動の場として、児童とボランティア講座で学んだシルバー世代の人たちが協働し、宇美八幡宮のクスノキの森のインタープリターとして、巨樹と環境保全の実践活動を行ってほしいと考える。

さらに千年以上健全に生きた、優良なクスノキのクローンを、メンテナンスフリーのビオトープとして「一本の木からビオトープ」活動を、全国に広げていく取り組みを行い、今後の発展につなげたいと考える。



巨樹の周りはTVクルーがたくさん



樹洞は、大人気



力が入る森本環境カウンセラー

活動報告

平成26年度福岡県環境県民会議

生きもの調査分科会の報告

ふくおか環境カウンセラー協会 理事 近藤 哲司

平成26年4月23日（水）第1回会議

議題：生きもの調査参加者募集について

（1）生きもの調査の概要について

調査目的：身近でわかりやすい動植物の生息状況を調査することにより、子供たちなどが生物や自然に対して関心を持ち、生物多様性について理解する契機とするとともに、その結果を外来種対策など生物多様性保全の基礎的な資料とするもの。

実施時期：平成26年7月～（夏休み期間を中心）

実施場所：参加者の自宅周辺や行楽地など（福岡県内）

参加対象：参加者の制限なし。（小学5・6年生には個別案内）

参加方法：参加申込書を自然環境課まで電子メール又はFAXで送付する。

調査方法：参加者は、調査用生きものガイドを活用し、自宅付近など身近な場所で調査対象種の生息状況を確認、見つけた生きもの情報（見つけた日、場所、写真など）を「いきものログ」に投稿（報告）。

平成26年6月6日（金）第2回会議

議題

(1) 生きもの調査の実施について

ふくおかいきもの見つけ隊隊員募集開始：平成26年6月2日（月）～

募集方法：募集チラシの配布、福岡県だより（7月号）掲載ほか

申込期間：平成26年6月2日（月）～6月30日（月）

(2) 調査用生きものガイドについて

参加申込者には、以下のものを配布：平成26年7月5日（土）配布開始

○調査用生きものガイド

○隊員章（小学生以下の参加者に限定）

○いきものログの使い方

(3) 調査実施について

調査期間：平成26年7月1日（火）～9月30日（火）まで

調査対象種（15種類）：夏休みに参加できるように、夏季に見つけやすく、簡単に見分けることのできる生きものを中心に選定

在来種：ツバメ、カワセミ、ヤモリ、キアゲハ（幼虫）、カブトムシ、ハンミョウ、クマゼミ、サワガニ、ネムノキ、サイヨウシャジン

外来種：ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）、ウシガエル、アメリカザリガニ、ホテイアオイ、オオキンケイギク

報告方法：環境省が運営するウェブサイト「いきものログ」を使って報告

(4) 結果報告について

9月30日（火）までの報告を10月中旬に速報として県HPに公表

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuokaikimonokekkasokuhou.html>

平成26年12月24日（水）第3回会議

議題

(1) 平成26年度ふくおか生きもの見つけ隊調査結果について

参加者数：1,000人（目標値：1,000人）

報告件数：1,779件（目標値：2,000件）

今後の予定（平成26年度）

10月1日（水）以降の追加報告を含んだ結果のまとめ

報告書の作成と公表（平成27年3月の予定）

隊員への報告書の発送

(2) 「ふくおか生きもの見つけ隊」平成27年度の調査計画（案）について

調査目的：身近でわかりやすい動植物の生息状況を調査することにより、子供たちなどが生物や自然に対して関心を持ち、生物多様性について理解する契機とするとともに、その結果を外来種対策など生物多様性保全の基礎的な資料とするもの。

平成26年度のテーマは、身近な生きもの15種を見つける＝初級編

平成27年度のテーマは、里山の生きもの20種を識別する＝中級編

調査時期

初級編：平成27年4月～10月（平成26年度の調査を継続）

中級編：平成27年7月～10月



夏休み前後の方が観察しやすい種がいるため、平成27年度は調査期間を延長

中級編の調査対象種

中級編の里山の生きものは、約20種を予定

●どんぐりの仲間10種、セミの仲間5種、クワガタの仲間5種、大型のクモ5種の中から専門委員の助言を基に事務局にて絞り込む。

中級編は近縁の仲間を識別するのが目的→多様性の認知+生息環境の違いの発見

→生きものや自然に対する興味・関心を高める

今後のスケジュール

平成26年2月中旬	モデル校募集及び県内小学校へチラシ配布
3月下旬	平成26年度調査結果報告書作成、参加者への送付 平成26年度参加者へ調査継続実施依頼（中級編の紹介）
平成27年4月～	初級編調査継続実施
5月初旬	生きもの調査分科会開催
5月下旬	募集チラシ配布
6月中旬	調査用生きものガイド（平成27年度作成）・隊員章配布
7月1日	中級編いきものログへの投稿受付開始、各参加者が調査実施
11月中旬	10月末までの調査結果公開（速報）

福岡県環境県民会議「生きもの調査分科会」について

この「生きもの調査分科会」は、県民会議（県民団体14、事業者団体16、行政機関6の計36団体で構成）の委員の中から、県民会議会長により、分科会委員と分科会会長が指名され、平成26年4月1日に設置されました。分科会は、各々3団体からなる教育関係団体、自然保護活動団体等及び行政関係からなり、県民会議会長より、その分科会会長はNPO法人ふくおか環境カウンセラー協会が指名されました。

【出向の経緯】

平成26年度NPO法人ふくおか環境カウンセラー協会第1回理事会（平成26年4月12日（土）開催）にて、当協会より理事の近藤哲司カウンセラーが出向することを確認。平成26年4月23日（水）第1回会議より、分科会会長として取り仕切り、現在に至ります。

活動報告

福岡県子どもエコクラブ 活動に参加しました！

秋の里山観察・味わい体験 ～かなたけの里公園～

ふくおか環境カウンセラー協会 理事 森本美鈴

福岡県環境政策課と協働で、秋の子どもエコクラブ活動を企画しました。

この企画は当協会理事の故吉田順子カウンセラーと力武和夫カウンセラーが福岡県と協働企画しました。

「かなたけの里公園」は、福岡市のはずれにあり、周囲の森と一体化した里山の自然を舞台に、農業体験等の活動ができる公園です。今回の活動は、子どもエコクラブの子ども達が、里山を観察し、里山利用について学び、野菜の収穫体験や収穫物の試食までできる活動をするというものです。

- 期 日 平成 26 年 11 月 15 日（土）13 時～16 時
- 場 所 かなたけの里公園（福岡市西区大字金武 字の菅 1367）
- 参加者 こどもエコクラブ会員とその家族 約 70 名
- 講 師 グリーンシティ福岡 理事 志賀 壮史（このす里山くらぶ代表）

○プログラム

- 13：00 開会・かなたけの里公園の紹介
- 13：20 田畑の秋の恵み観察～いつも口にしてているソバや大豆等の穀物や柿の木を観察してみよう～
- 13：45 林の秋の恵み観察 ～ドングリや葉っぱを観察して木のことを学ぼう～
- 14：15 はらっぱの生き物観察 ～生きものたちの秋のくらしをのぞいてみよう～
- 15：00 秋の味覚収穫体験（サツマイモ）～自分で収穫した野菜は美味しいぞ!!～
- 15：30 焼き火体験・焼き芋試食 ～たくさん動いて、お勉強した後はみんなで腹ごしらえ♪～
- 16：00 閉会

澄み渡る秋空の下、こどもエコクラブの子供たちが、のびのびと活動しました。

「かなたけの里公園」は市街地が一望できる山の斜面にあり、とても広く、素晴らしいところでした。登録制の市民農園や、一見の客が体験できる農園もあり、森や林がとてつもなく広い面積で混在して広がっているところで、体験学習の絶好の場であると思いました。

また、当日、参加した子供たちも、イオンチアーズなど、宇美八幡宮の樹洞体験活動でなじみになった子供さんたちもいました。



かなたけの里 力武園長の話 右は講師の志賀 壮史氏



芋ほり体験（あとで焼き芋にして食べました）

研修会等の活動

環境省主催 平成 26 年度 九州ブロック

環境カウンセラー研修

ふくおか環境カウンセラー協会 理事 森本美鈴

- 期 日：平成 26 年 11 月 17 日(月)10：30～16：30
- 場 所：九州地方環境事務所（会場：熊本合同庁舎 B 棟）

環境省主催の平成 25 年度九州ブロック「平成 26 年度環境カウンセラー研修」が、11 月に熊本市で行われました。九州各県から約 70 名の環境カウンセラーが集まり、今後の環境活動について学習と意見

交換をしました。

午前中は、九州地方環境事務所の阿久津博志環境対策課長の挨拶に始まり、基調講演は、九州大学アイソトープ総合研究センターの百島則幸センター長による演題「身の回りにおける放射能と放射線について基礎知識を学ぶ」の講演があり、放射能と放射線の違いや、被ばくやそのリスク等について、身近な例を交えながら、わかりやすく話されました。

午後からは、「再生可能エネルギー」、「地球温暖化」、「生物多様性・生態系」、「最近の大気汚染—PM2.5と光化学オキシダント」の4分科会に分かれて、事例発表や情報交換などが行われました。

第2分科会「地球温暖化」では、「IPCC 第一作業部会報告書から浮かび上がる地球温暖化の現状」というテーマで、国立環境研究所地球環境研究センター研究員中岡慎一郎氏の温暖化の現状と将来予測の話がありました。また、意見交換ではファシリテータとして、当協会から大平裕カウンセラーが仕切りました。市民を巻き込んだ更なる活動の躍進について、現状や悩み、解決方法等、有意義な討議が行われました。



表 彰

おめでとうございます

NPO 法人環境カウンセラー全国連合会 (ECU) 平成 26 年度 理事長表彰

近藤 哲司カウンセラー 【環境保全功績者】賞を受賞
森本 美鈴カウンセラー 【環境保全功労者】賞を受賞

去る平成 26 年 6 月 27 日に環境カウンセラー全国連合会の平成 26 年度通常総会が開催され、ふくおか環境カウンセラー協会から 2 名が、日ごろの活動を評価され、理事長表彰を受けました。近藤哲司カウンセラーは、環境保全功績者賞(全国で 2 名受賞)を、森本美鈴カウンセラーは環境保全功労者賞(全国で 14 名受賞)を、各々受賞しました。

平成 26 年度 福岡県環境保全功労者知事表彰 平成 26 年度 飯塚市市勢振興功労者(自治功労)表彰 依田 浩敏カウンセラー

飯塚市などの環境行政の推進に長年尽力していることが評価され、平成 26 年 6 月 27 日に福岡県より、また、同年 11 月 3 日に飯塚市より表彰されました。

福岡県環境教育学会第 32 回例会のお知らせ

不思議な遠賀堀川ツアーで、街の再生を考えよう！

期日：平成 27 年 5 月 9 日（土）10：00～15：30

場所：北九州市八幡西生涯学習センター折尾分館北九州市八幡西区北鷹見町 13-10 (JR 折尾駅前徒歩 2 分、オリオンプラザ内)

講師：堀川再生の会・五平太会長 中村恭子氏

ツアー：バスとウォーキングで遠賀堀川沿いの 12 キロをたどります。水巻町の河守神社でお弁当を食べ、春の一日を楽しみながら、街の歴史や、堀川の変遷、そして再生を考えましょう。

連絡先：北九州市立大学 三宅博之 TEL080-2771-5229 (参加希望の方は学会にご入会下さい)

福岡県環境教育学会 第18回年会のお知らせ

「循環型社会を“つくる・つづける”取り組み」

期日：平成27年8月8日（土）10:00～16:30

場所：福岡教育大学 共通講義棟

参加費：無料（発表要旨集代として会員・学生500円、非会員1,000円）

事務局連絡先：実行委員長 坂本憲明（福教大）

発表申込締切：6月19日（金）必着 口頭発表、ポスター発表、出展等

要旨集原稿締切：7月10日（金）必着

※ 参加希望の方は学会にご入会下さい。

連絡先：近畿大学 産業理工学部 菅野研究室気付 Tel：0948-22-5655（内線208）Fax：0948-22-5715

※ E-mail：info@fuku-kan-kyouiku.org

事務局だより

平成8年度に創設された環境カウンセラー登録制度は19年が経過しようとしています。環境カウンセラーの現状を踏まえて、今後の活動のあり方や現行登録制度の改善の検討等を進めることを目的として、『環境カウンセラー制度検討会』（環境省事業/日本環境協会受託）が設置され、報告書が、本年3月中にまとめられ環境省に提出される予定となっています。

福岡県では、新規登録者の減少や登録辞退者の増加のため、登録者の減少が続いています。当協会もそのような背景から会員数が減少傾向にあります。環境カウンセラーの活動について、当協会としてもNPO法人環境カウンセラー全国連合会（ECU）や、他の環境カウンセラー協（議）会と連携を図りながら事業を進めていかなくてはならないと考えています。

昨年、当協会設立前から活動を共にし、協会事業に多大なる尽力をいただきました吉田順子さんと松井亮二さんが逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げるとともに、両氏の意志を引き継ぎ、協会運営を図っていく所存です。今後とも会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

理事長 依田 浩敏

編集担当 森本 美鈴

◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。また、全国連合会費も会員数に応じて支出しています。会費未納の方は至急納入してください。

年会費 3,000円 振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号17410 番号：13271061 名前：ふくおか環境カウンセラー協会

◆準会員 並びに 賛助会員 募集

準会員：会費（1口2千円） 賛助会員：会費（1口1万円） 学会会員：会費なし

発行責任者： 依田 浩敏 （編集責任者： 森本美鈴）

連絡先：〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉2-3-36

TEL/FAX:092-672-9911 メールアドレス：feca.office@gmail.com